

2019年度決算概要

株式会社東邦銀行

1. 経営成績（損益の状況）【連結】

- (1) 経常収益は、長期にわたるマイナス金利政策を背景とした有価証券利息および有価証券売却益の減少を主たる要因として、前年度比90億47百万円減少し63億49百万円となりました。
- (2) 経常費用は、営業経費および有価証券関係費用の減少を主な要因として、前年度比76億34百万円減少し590億73百万円となりました。
- (3) 経常利益は、前年度比14億13百万円減少し43億76百万円となりました。
- (4) 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益が減益となったことに加え、店舗戦略の見直しおよび台風被害等に伴う保有固定資産の減損損失計上等により、前年度比8億57百万円減少し27億27百万円となりました。

【連結】

(単位：百万円)

	2019年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	72,497	63,449	△9,047
経常利益	5,790	4,376	△1,413
親会社株主に帰属する当期純利益	3,585	2,727	△857

【銀行単体】

(単位：百万円)

	2019年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	66,098	55,996	△10,102
経常利益	5,961	3,888	△2,073
当期純利益	4,066	2,554	△1,512

2. 主要勘定の業績【銀行単体】（末残ベース）

- (1) 総預金（譲渡性預金含む）
個人預金・法人預金が引続き順調に推移（+1,185億円）し、前年度末比1,263億円増加（+2.2%）しました。
- (2) 貸出金（含む私募債）
取引先企業や個人のお客さまのニーズに幅広く積極的に応えた結果、前年度末比3,025億円増加（+8.3%）しました。
- (3) 有価証券
世界的な超金融緩和環境が続く中、中長期的な金利リスク回避の観点から内外の市場運用を抑制方針とし、期末残高は前年度末比2,109億円減少（△36.7%）しました。

【主要勘定の業績】

(単位：億円)

	2019/3末	2019/9末	2020/3末	2019/3末増減(率)	2019/9末増減(率)
総預金 (譲渡性預金含む)	56,701	56,327	57,964	+1,263 (+2.2)	+1,637 (+2.9)
うち個人預金	31,836	32,042	32,706	+870	+664
うち法人預金	12,191	12,414	12,506	+315	+91
うち公金預金等	12,672	11,870	12,751	+78	+880
貸出金 (含む私募債)	36,379	37,923	39,405	+3,025 (+8.3)	+1,481 (+3.9)
私募債	733	756	776	+43	+20
個人向けローン	8,121	8,237	8,235	+113	△2
うち住宅ローン	7,487	7,608	7,618	+130	+9
有価証券	5,749	4,008	3,639	△2,109 (△36.7)	△368 (△9.2)

3. 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は単体で8.71%、連結で8.96%と引続き十分な水準を維持しております。

【銀行単体】

（単位：億円）

	2019/3末	2019/9末	2020/3末	2019/3末増減(率)	2019/9末増減(率)
自己資本比率	8.52%	8.69%	8.71%	+0.19%	+0.01%
自己資本	1,813	1,813	1,818	5	5
リスクアセット等	21,271	20,867	20,878	△392	10

【連結】

（単位：億円）

	2019/3末	2019/9末	2020/3末	2019/3末増減(率)	2019/9末増減(率)
自己資本比率	8.74%	8.92%	8.96%	+0.21%	+0.03%
自己資本	1,868	1,870	1,878	10	8
リスクアセット等	21,353	20,966	20,968	△385	1

4. 金融再生法開示債権（正常債権除く）【銀行単体】

総与信に対する比率は0.82%と引続き極めて低い水準になっております。

【金融再生法開示債権（正常債権除く）】

（単位：億円）

	2019/3末	2019/9末	2020/3末	2019/3末増減(率)	2019/9末増減(率)
金融再生法開示債権	306	322	327	+20	+4
破産更生債権等	110	137	128	+17	△9
危険債権	156	160	148	△7	△12
要管理債権	39	23	50	+10	+26
総与信比	0.84%	0.84%	0.82%	△0.01%	△0.02%

5. 2020年度通期業績予想

2020年度の連結ベースでの業績予想につきましては、直近の経営環境を踏まえ、中期経営計画の目標（2020年度末）を一部修正し、経常利益75億円、親会社株主に帰属する当期純利益50億円を見込んでおります。

また、銀行単体の業績予想につきましては、経常利益75億円、当期純利益50億円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、新型コロナウイルスの終息時期が不透明な状況であること等から、業績に及ぼす影響を合理的に算定することが困難な状況のため、当該影響を織込んでおりません。

【業績予想（連結）】

（単位：百万円）

	2019年度 実績（A）	2020年度 業績予想（B）	増減 （B－A）
経常利益	4,376	7,500	+3,123
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,727	5,000	+2,272

【業績予想（銀行単体）】

（単位：百万円）

	2019年度 実績（A）	2020年度 業績予想（B）	増減 （B－A）
経常利益	3,888	7,500	+3,611
当期純利益	2,554	5,000	+2,445

【中期経営計画の目標（2020年度末）（連結）】

（単位：百万円）

	2020年3月期実績	2021年3月期目標 【当初】	2021年3月期目標 【修正後】
親会社株主に帰属 する当期純利益	27億円	100億円以上	50億円以上
ROE	1.41%	5.00%以上	2.50%以上

以 上